

第5章

魅力・元気・文化を誇れるまち

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト	活動実績(R3)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
512	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	事業の目的達成に向けて、成果が出始めているため。	R3年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	5,941千円	4,478千円	①企業立地等奨励金の交付件数	企業立地等奨励金の交付件数	誘致対象事業者の新規立地を、年間1件以上あることを目標とし、交付件数を年度ごとに1件ずつ加算した。				埼玉県(企業立地課)との情報共有を図り、埼玉県においても、所沢市への企業誘致活動を共同で行っている。	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう		
		企業誘致活動推進事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②工場等の立地相談対応件数		R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	現在の課題:企業誘致のためにさらに周知が必要である。今後の取組:引き続き関係機関と連携し、企業誘致活動を実施する。	どのように貢献したか
			所沢市企業立地支援条例、及び、同施行規則 所沢市都市型産業等育成補助金交付要綱	25,809千円	25,638千円	③都市型産業等育成補助金の交付件数	6件	6件							
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	5件	3件							
			本市の立地環境を活かし、企業立地等奨励金や補助金により製造業や都市型産業等(情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等)の立地・拡大の推進及び育成を行い、市内経済の活性化、雇用の創出、税収の増加を図るものである。	0.57人	0人	①6件	R3目標	R3実績							
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②20件	6件	6件							
H24～	0.80人	0人	③5件	R4目標											
6,384千円	0人		6件												
513	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	新型コロナウイルスの影響により、計画通りに支援を進められなかったため、目標値の達成はできなかった。	R3年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,350千円	1,350千円	①創業支援対象者数	創業支援対象者数	産業競争力強化法に基づく本市の創業支援等事業計画による創業支援の対象者。				新型コロナウイルス感染症対策として、定員の縮小、グループワークの見直しなど、三密を避ける工夫を行った。	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう		
		新規創業等支援事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②創業者数		R2目標	R2実績						R3目標値が未達成の理由・分析
			産業競争力強化法	1,350千円	1,350千円	実績	393人	157人							
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①250人	393人	250人							
			地域における創業者を支援し、地域の活性化、雇用の確保を図ることを目的として、開業セミナー、開業カフェ、専門家による無料個別相談会等、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画に沿って、商工会議所等と共に事業を展開するもの。	0.18人	0人	②32人	R3目標	R3実績							
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.27人	393人	250人							
H12～	2,155千円	0人		R4目標											
2,155千円	0人		393人												
513	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業者の研究等の新たな連携やイベントの実施が困難であったことから申請がなかったため。	R3年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	400千円	400千円	①補助対象研究事業数	補助対象研究事業数	予算額400千円(1事業限度200千円×2グループ)				補助対象となりそうな事業や実施に興味がある事業者に制度をPRした。			
		商業経営者グループ研究補助事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②		R2目標	R2実績						R3目標値が未達成の理由・分析
			所沢市商業経営者グループ研究事業補助金交付要綱	400千円	0千円	③	2グループ	2グループ							
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	2グループ	2グループ							
			市内商業経営者グループが行う研究事業を募集し、補助金を交付する。 ・対象者 市内在住者又は市内に事業所を有する5名以上で構成する団体 ・対象事業 研究事業に要する調査活動費、研修費、消耗品費等 ・補助金額 経費の1/2以内(限度額20万円) 同一の研究事業は2回を限度としている。	0.13人	0.01人	①0グループ	R3目標	R3実績							
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.12人	2グループ	0グループ							
H25～	958千円	0人		R4目標											
958千円	0人		2グループ												
514	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R3年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	180千円	45千円	①きっかけづくり交流会参加団体数	農工商連携により創出された新事業数	支援事業に参加した事業者同士の連携により、実際に新商品や新サービスの創出につながった件数				「農工商連携のためのきっかけづくり交流会」を感染拡大防止のためオンラインで開催した。農業者5団体、商工業者15団体が参加。また、「参加者プロフィール冊子」を作成し、オンラインに参加できなかった事業者を含む参加者全員35者に配布した。			
		農工商連携推進事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②きっかけづくり交流会新規参加団体数		R2目標	R2実績						R3目標値が未達成の理由・分析
			特になし	298千円	161千円	③農工商連携により創出された新事業数	3件	3件							
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	3件	3件							
			農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農工商連携のための勉強会」、 「農工商連携のためのきっかけづくり交流会」を開催し、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図るもの。	0.54人	0人	①35団体	R3目標	R3実績							
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	0.73人	3件	7件							
H23～	5,825千円	0人		R4目標											
5,825千円	0人		3件												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)					
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	化学肥料・化学合成農薬を用いない有機農業は、環境への負荷が少ない一方、農業者にとっては高度な手法が要求されるものである。年々取組面積が増加していきけるよう、引き続き農業者の取組等の支援を行っていく。	R3年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を	15. 陸の豊かさも守ろう						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	800千円	785千円	①有機農業の取組面積 ② ③	環境保全型農業に取り組んだ面積	目標設定の考え方・根拠	R3目標値が未達成の理由・分析			R3年度に改善した点								
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	1,200千円							1,200千円			有機農業を行っている農業者に、当交付金の案内を積極的にを行い、受給者を増やした。(交付金対象者:令和2年度4人→令和3年度5人)					
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.30人							0人			実績	R2目標	R2実績	666a	654a	
		期間	H24～	国、県、市一体で、土づくり等を通じた化学肥料・農薬等による環境負荷の軽減、農業が有する環境保全機能の向上が図られるような農業者の取組等に対し支援を行う。農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全等に資する取組が対象となる。化学肥料、化学合成農薬を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組とあわせて、①～③のいずれかの取組ひとつを選択して実施 ①カバークロープ②炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用③有機農業(化学肥料及び農薬を使用しない農業)の取組	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	2,450千円	0人	①1,000a ② ③			R3目標			R3実績	1,000a	1,000a	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
		取組を実施する農業者同士の交流機会が少ないため、意見交換等の機会を設け、取組を推進していきけるよう検討する。	評価者	農業振興課長 大館 寿貴	農業・肥料等の使用抑制による環境負荷の低減															
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	新規就農を目指す意欲ある青年の育成が順調に進み、研修の仕組みである「いるま地域明日の農業担い手育成塾」に4名が参加しているなど、新規就農者を確保していく体制が整っている。これは、就農相談会への参加や、適切な就農相談の受付など、就農支援に向けた施策に積極的に取り組んだ結果であり、今後も継続して行っていく予定である。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	12,000千円	11,195千円	①交付対象者人数 ② ③	新規就農者数及び研修者人数	目標設定の考え方・根拠	R3目標値が未達成の理由・分析			昨年度と同様、就農相談や制度説明だけでなく、実際に新規に就農した方への訪問や体験談などを聞くことにより、様々な観点から就農に向けた検討が行えるよう、就農希望者に声を掛けてきた。								
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	7,800千円							7,500千円			R2目標	R2実績	4人	3人		
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.32人							0人			実績	R3目標	R3実績	6人	6人	目標達成済
		期間	H24～	農業経営を開始した49歳以下の独立・自営農業者で、人・農地プランに地域の中心となる経営体として位置付けられている、または、位置付けられることが確実と見込まれている青年新規就農者に対し、就農初期段階の経営の安定化を図るため、経営開始資金を交付し、支援する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	2,614千円	0人	①5人 ② ③			R4目標			R4実績	6人	6人	目標達成済	就農に向けた相談では、県と連携して丁寧に対応し、就農後においても適切な指導を行った。今後も周辺農業者との良好な関係が築けるよう支援していく。	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理
		取組を実施する農業者同士の交流機会が少ないため、意見交換等の機会を設け、取組を推進していきけるよう検討する。	評価者	農業振興課長 大館 寿貴	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理															
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	新規に参入した法人による遊休農地の賃借等により、農地の維持及び地域農業の活性化に寄与した。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	130千円	66千円	①対象法人数 ②対象面積 ③	農地所有適格法人等規模拡大面積	目標設定の考え方・根拠	R3目標値が未達成の理由・分析			参入希望の法人に対して、県や農業委員会と連携し、適切な指導を実施した。また、本事業を活用していない法人に連絡をとり、本事業を活用して更なる農地拡大を検討するよう提案をした。								
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	190千円							105千円			R2目標	R2実績	5,000㎡	54,603㎡		
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.37人							0人			実績	R3目標	R3実績	5,000㎡	23,817㎡	目標達成済
		期間	H27～	遊休農地や不耕作農地の解消、地域農業の活性化のため、農業経営の規模拡大を目指す新たな農業の担い手となる農地所有適格法人等が、賃貸により耕作面積を拡大した際に、農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	3,022千円	0人	①3法人 ②15,395㎡ ③			R4目標			R4実績	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	農地拡大を検討している法人やこれから農業に参入する意思のある法人からの相談があった場合に、農地賃借のマッチングや本事業の活用を勧める。	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理
		取組を実施する農業者同士の交流機会が少ないため、意見交換等の機会を設け、取組を推進していきけるよう検討する。	評価者	農業振興課長 大館 寿貴	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理															
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	農地の確保が難しい新規就農者への支援を積極的に展開し、新規の借受面積を増やしたことにより、今後の農業の発展に寄与するものであると考えられる。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	450千円	242千円	①農業機械の導入 ②新規就農者の農地面積拡大 ③	新規就農者の規模拡大面積	目標設定の考え方・根拠	R3目標値が未達成の理由・分析			新規就農者の意欲と今後の発展を見込み、面積の広いまとまりのある農地を探し、積極的に紹介できるように情報収集を行ったことから、令和4年度以降、新規にまとまった借受地が増える予定である。								
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	200千円							46千円			R2目標	R2実績	5,000㎡	6,376㎡		
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.32人							0人			実績	R3目標	R3実績	5,000㎡	6,519㎡	目標達成済
		期間	H27～	農業従事者の高齢化や後継者が不足する中で、農業の担い手となる新規就農者に対し、農業経営の早期安定化のため、農業用機械の導入費用の一部や借り受ける農地の賃借料の一部を補助し、支援する。	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	2,614千円	0人	①0件 ②12,895㎡(補助額46,000円) ③			R4目標			R4実績	5,000㎡	5,000㎡	目標達成済	新規就農者を増やすために、毎年実施している就農相談会や、通年行っている就農相談の内容等をさらに充実させ、相談者が就農したいと思える環境づくりを進めながら、農業者の経営規模拡大を支援する。	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理
		取組を実施する農業者同士の交流機会が少ないため、意見交換等の機会を設け、取組を推進していきけるよう検討する。	評価者	農業振興課長 大館 寿貴	農業後継者不足の解消 農地の遊休化の未然防止 農地の適正管理															

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	導入2年後に実施した調査票から、休日数や収入の増加した旨の回答が多数あり、認定農業者の経営を改善する上でも有効な事業と考えられる。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	21,150千円	16,559千円	①気象条件に左右されない農業施設 ②農作業の省力化、効率化が図れる施設・機械 ③環境にやさしい資源循環型農業用施設・機械	機械・施設導入によって経営が改善した経営体数	導入2年後の検査で、所得向上または労働時間短縮となった経営体の数を指標とする。目標値は、令和4年3月末時点での認定農業者数が179人であり、認定農業者数の確保目標である170名を超えていることから、前年度同様、17名とした。	R3年度に改善した点								
		根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市認定農業者等経営改善推進事業実施要領	R3予算現額	R3決算額(見込み)							21,150千円			21,085千円	R3目標値が未達成の理由・分析	8. 働きがいも経済成長も
		期間	H20～	事業の目的及び具体的な内容	認定農業者が、農業経営を改善するための機械や施設整備に対して補助事業を実施する。 ①気象条件等に左右されずに農産物の生産に寄与する施設②農作業の省力化、効率化が図れる施設や機械③環境にやさしい資源循環型農業に資する施設や機械④その他農業経営改善計画の実現に資する必要な施設や機械の整備に対して、予算の範囲内において1事業主体あたり総事業費の1/2以内で135万円を限度として補助する。ただし、施設の場合は180万円を限度とする。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標			R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	
						0.49人	0人		12件			14件					
						4,002千円	0人		R3目標			R3実績				17件	21件
						0.37人	0人		R4目標							17件	
R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①2件 ②19件 ③0件	2,953千円	0人	目標達成済	17件		農業経営の改善により安定した農作物の供給を可能にした。									
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	家畜防疫対策については、GSF(豚熱)のワクチン接種が年間を通して適宜実施され、また、薬剤等購入に新たな品目の追加したことにより、病気感染対策の抑制に効果を発揮した。	R3年度に改善した点	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに				
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	900千円	859千円	①豚丹毒(生)予防事業 ②乳牛検査事業 ③豚熱予防接種	実施頭数の合計	家畜伝染病及び周辺環境問題の発生防止を図ることを目的としているため、予防接種の実施頭数を指標としている。 令和3年度からの目標値として、家畜(牛・豚)の既存の予防接種の他に、豚熱の予防接種数を追加している。	R3年度に改善した点								
		根拠法令	家畜伝染病予防法、所沢市農業振興総合対策要綱、所沢市家畜防疫対策事業実施要領	R3予算現額	R3決算額(見込み)							900千円			731千円	R3目標値が未達成の理由・分析	2. 飢餓をゼロに
		期間	S62～	事業の目的及び具体的な内容	家畜への定期的なワクチン接種と検査を実施し、家畜伝染病の発生防止を図る。また、薬剤等の共同購入により、臭気及び害虫等による周辺地域での環境問題の発生防止を図る。 事業主体の申請に基づき、家畜伝染病の予防接種並びに検査、環境汚染問題を回避するために、必要な薬剤の購入等経費の一部を補助する。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標			R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	家畜伝染病を予防に寄与することにより、安定した食料供給に貢献。	
						0.12人	0人		606頭			1,036頭					
						980千円	0人		R3目標			R3実績				1,600頭	2,447頭
						0.23人	0人		R4目標							2,080頭	
R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①1,061件 ②70件 ③1,316件	1,835千円	0人	目標達成済	2,080頭		家畜防疫事業に対する補助を継続し、引き続き家畜伝染病等を防除していくとともに、環境問題の発生防止の支援に努めていく。									
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	病害虫防除に関する情報や薬剤の適切な使用について、必要な情報発信を行った。	R3年度に改善した点	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに				
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,620千円	1,620千円	①補助実施戸数 ② ③	薬剤補助を受けた農家戸数	病害虫防除のための薬剤を購入した農業者への支援であるため、薬剤補助を受けた農家戸数を指標としている。目標値としては、事業主体からの申請に基づき実施するため、申請見込みの農家戸数としている。	R3年度に改善した点								
		根拠法令	所沢市病害虫防除対策事業実施要領、所沢市農業振興総合対策要綱	R3予算現額	R3決算額(見込み)							1,620千円			1,620千円	R3目標値が未達成の理由・分析	2. 飢餓をゼロに
		期間	S63～	事業の目的及び具体的な内容	安定した農業生産と農産物の品質の向上を確保する。土壌病害虫、根腐病、野菜へのコガネムシ、茶の葉巻虫、カンザワハダニ等を防除するための薬剤の購入に要する経費の30%を限度として、予算の範囲内で補助する。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標			R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	関係機関と情報共有・調整を図りながら、新たな薬剤等を補助対象に加えるとともに、補助率が30%をかなり下回っていることから予算の増額などについて検討する。	
						0.14人	0人		500戸			482戸					
						1,144千円	0人		R3目標			R3実績				500戸	507戸
						0.12人	0人		R4目標							500戸	
R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①507件 ② ③	958千円	0人	目標達成済	500戸		農業振興課長 大館 寿貴									
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	目標は未達成だが、アンケートからは参加者の反応が良好であり、参加した農業者の意欲向上の一助になったと考えられる。	R3年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう 10. 人や国の不平等をなくそう	1. 貧困をなくそう 3. すべての人に健康と福祉を			
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	80千円	34千円	①講演会の開催 ② ③	認定農業者等講演会における認定農業者の参加人数	認定農業者の経営改善に向けた意欲向上を目的とした講演会であるため、講演会に参加した認定農業者等の参加人数を指標としている。	R3年度に改善した点								
		根拠法令	農業経営基盤強化促進法	R3予算現額	R3決算額(見込み)							88千円			50千円	R3目標値が未達成の理由・分析	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう
		期間	H8～	事業の目的及び具体的な内容	認定農業者制度は、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された農業経営の目標の達成に向けた「経営改善計画」の認定を受けた認定農業者が計画を実現するための方策に対して、重点的に支援措置を講じるもの。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標			R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	10. 人や国の不平等をなくそう	
						0.27人	0人		50人			0人					
						2,205千円	0人		R3目標			R3実績				50人	23名
						0.13人	0人		R4目標							50人	
R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①1回 ② ③	1,037千円	0人	目標達成済	50人		農業振興課長 大館 寿貴									

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、セミナーの回数を減少したため、目標に達することができなかった。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	8. 働きがいも経済成長も	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	530千円	530千円	①研修、交流会、イベント開催数	研修、交流会、イベントへの参加人数	目標設定の考え方・根拠	生産者同士だけでなく、市民などの消費者との交流をする機会を増やすことで、生産者や農作物とふれあい、農業に対する理解と関心を深めてもらうことができるため、交流会等の参加者数を指標とする。						
		根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱 農業後継者育成確保推進事業実施要領	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②農業サポーター人数									
		農業後継者育成確保推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	S58～	0.20人	0人	実績	50人	0人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、婚活セミナーを2回しか開催することができなかったため。						
				1,634千円		①2回	R3目標	R3実績							
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②25人	30人	20人									
		0.10人	0人	③	R4目標										
		798千円			30人										
523	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	連携の一環として、所沢市農業委員会委員、所沢市産業振興ビジョン推進会議委員など各種委員の立場により、同学の知見を提供いただいている。連携・交流の取組みを積極的に実施し、イベントや講習会を通じて農業者だけでなく、市民にも大学の知的資源を還元してるところである。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに	4. 質の高い教育をみんなに	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	137千円	30千円	①イベント等実施回数	連携・交流の取組みの実施回数	目標設定の考え方・根拠	今後も強固な連携を図っていくため、官学連携協定に基づき実施予定である。研修や交流会、イベントの取組回数を指標とした。令和4年度は「農のあるまちづくり」の推進を目的とし、東京農工大学の名誉教授を講師とした市民向け家庭菜園教室の実施回数を増やす。						
		根拠法令	-	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②委員等委嘱数									
		大学との交流による都市農業振興事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	H25～	0.27人	0人	実績	4回	1回	目標達成済						
				2,205千円		①4回	R3目標	R3実績							
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②4種	4回	4回									
		0.16人	0人	③	R4目標										
		1,277千円			7回										
523	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする情報提供は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、広報の役割を果たせるように努める。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	472千円	440千円	①発行回数	配布率(%) (配布戸数÷対象農家戸数)	目標設定の考え方・根拠	市内農業者への情報提供が目的であることから配布率を指標とし、全農家世帯への配布を目標とする。						
		根拠法令	農業委員会等に関する法律	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②配布戸数									
		「農委だより」発行事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	S53～	0.14人	0人	実績	100.0%	100.0%	目標達成済						
				1,144千円		①2回	R3目標	R3実績							
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②2,174戸	100.0%	100.0%									
		0.13人	0人		R4目標										
		1,037千円			100.0%										
523	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、遊休農地は概ね是正されている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層遊休農地の発生防止・解消に努める。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに		
		優先	□ 自治事務 ■ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	131千円	165千円	①遊休農地調査面積	是正率(%) (是正面積÷遊休農地調査面積)	目標設定の考え方・根拠	遊休農地は是正が目的であることから、是正率を指標とする。前年度以上の是正率を目標とする。						
		根拠法令	農地法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②是正面積									
		農地利用状況調査・遊休農地指導事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	H11～	0.67人	0人	実績	80.0%	84.9%	目標達成済						
				5,473千円		①1,022,168㎡	R3目標	R3実績							
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②833,271㎡	80.0%	81.5%									
		0.66人	0人		R4目標										
		5,267千円			80.0%										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R3予算現額	R3決算額(見込み)	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	R3目標	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	R6目標	R6実績	R7目標	R7実績	R8目標	R8実績	R9目標	R9実績	R10目標	R10実績	R11目標	R11実績	R12目標	R12実績	R13目標	R13実績	R14目標	R14実績	R15目標	R15実績	R16目標	R16実績	R17目標	R17実績	R18目標	R18実績	R19目標	R19実績	R20目標	R20実績	R21目標	R21実績	R22目標	R22実績	R23目標	R23実績	R24目標	R24実績	R25目標	R25実績	R26目標	R26実績	R27目標	R27実績	R28目標	R28実績	R29目標	R29実績	R30目標	R30実績	R31目標	R31実績	R32目標	R32実績	R33目標	R33実績	R34目標	R34実績	R35目標	R35実績	R36目標	R36実績	R37目標	R37実績	R38目標	R38実績	R39目標	R39実績	R40目標	R40実績	R41目標	R41実績	R42目標	R42実績	R43目標	R43実績	R44目標	R44実績	R45目標	R45実績	R46目標	R46実績	R47目標	R47実績	R48目標	R48実績	R49目標	R49実績	R50目標	R50実績	R51目標	R51実績	R52目標	R52実績	R53目標	R53実績	R54目標	R54実績	R55目標	R55実績	R56目標	R56実績	R57目標	R57実績	R58目標	R58実績	R59目標	R59実績	R60目標	R60実績	R61目標	R61実績	R62目標	R62実績	R63目標	R63実績	R64目標	R64実績	R65目標	R65実績	R66目標	R66実績	R67目標	R67実績	R68目標	R68実績	R69目標	R69実績	R70目標	R70実績	R71目標	R71実績	R72目標	R72実績	R73目標	R73実績	R74目標	R74実績	R75目標	R75実績	R76目標	R76実績	R77目標	R77実績	R78目標	R78実績	R79目標	R79実績	R80目標	R80実績	R81目標	R81実績	R82目標	R82実績	R83目標	R83実績	R84目標	R84実績	R85目標	R85実績	R86目標	R86実績	R87目標	R87実績	R88目標	R88実績	R89目標	R89実績	R90目標	R90実績	R91目標	R91実績	R92目標	R92実績	R93目標	R93実績	R94目標	R94実績	R95目標	R95実績	R96目標	R96実績	R97目標	R97実績	R98目標	R98実績	R99目標	R99実績	R100目標	R100実績	R101目標	R101実績	R102目標	R102実績	R103目標	R103実績	R104目標	R104実績	R105目標	R105実績	R106目標	R106実績	R107目標	R107実績	R108目標	R108実績	R109目標	R109実績	R110目標	R110実績	R111目標	R111実績	R112目標	R112実績	R113目標	R113実績	R114目標	R114実績	R115目標	R115実績	R116目標	R116実績	R117目標	R117実績	R118目標	R118実績	R119目標	R119実績	R120目標	R120実績	R121目標	R121実績	R122目標	R122実績	R123目標	R123実績	R124目標	R124実績	R125目標	R125実績	R126目標	R126実績	R127目標	R127実績	R128目標	R128実績	R129目標	R129実績	R130目標	R130実績	R131目標	R131実績	R132目標	R132実績	R133目標	R133実績	R134目標	R134実績	R135目標	R135実績	R136目標	R136実績	R137目標	R137実績	R138目標	R138実績	R139目標	R139実績	R140目標	R140実績	R141目標	R141実績	R142目標	R142実績	R143目標	R143実績	R144目標	R144実績	R145目標	R145実績	R146目標	R146実績	R147目標	R147実績	R148目標	R148実績	R149目標	R149実績	R150目標	R150実績	R151目標	R151実績	R152目標	R152実績	R153目標	R153実績	R154目標	R154実績	R155目標	R155実績	R156目標	R156実績	R157目標	R157実績	R158目標	R158実績	R159目標	R159実績	R160目標	R160実績	R161目標	R161実績	R162目標	R162実績	R163目標	R163実績	R164目標	R164実績	R165目標	R165実績	R166目標	R166実績	R167目標	R167実績	R168目標	R168実績	R169目標	R169実績	R170目標	R170実績	R171目標	R171実績	R172目標	R172実績	R173目標	R173実績	R174目標	R174実績	R175目標	R175実績	R176目標	R176実績	R177目標	R177実績	R178目標	R178実績	R179目標	R179実績	R180目標	R180実績	R181目標	R181実績	R182目標	R182実績	R183目標	R183実績	R184目標	R184実績	R185目標	R185実績	R186目標	R186実績	R187目標	R187実績	R188目標	R188実績	R189目標	R189実績	R190目標	R190実績	R191目標	R191実績	R192目標	R192実績	R193目標	R193実績	R194目標	R194実績	R195目標	R195実績	R196目標	R196実績	R197目標	R197実績	R198目標	R198実績	R199目標	R199実績	R200目標	R200実績	R201目標	R201実績	R202目標	R202実績	R203目標	R203実績	R204目標	R204実績	R205目標	R205実績	R206目標	R206実績	R207目標	R207実績	R208目標	R208実績	R209目標	R209実績	R210目標	R210実績	R211目標	R211実績	R212目標	R212実績	R213目標	R213実績	R214目標	R214実績	R215目標	R215実績	R216目標	R216実績	R217目標	R217実績	R218目標	R218実績	R219目標	R219実績	R220目標	R220実績	R221目標	R221実績	R222目標	R222実績	R223目標	R223実績	R224目標	R224実績	R225目標	R225実績	R226目標	R226実績	R227目標	R227実績	R228目標	R228実績	R229目標	R229実績	R230目標	R230実績	R231目標	R231実績	R232目標	R232実績	R233目標	R233実績	R234目標	R234実績	R235目標	R235実績	R236目標	R236実績	R237目標	R237実績	R238目標	R238実績	R239目標	R239実績	R240目標	R240実績	R241目標	R241実績	R242目標	R242実績	R243目標	R243実績	R244目標	R244実績	R245目標	R245実績	R246目標	R246実績	R247目標	R247実績	R248目標	R248実績	R249目標	R249実績	R250目標	R250実績	R251目標	R251実績	R252目標	R252実績	R253目標	R253実績	R254目標	R254実績	R255目標	R255実績	R256目標	R256実績	R257目標	R257実績	R258目標	R258実績	R259目標	R259実績	R260目標	R260実績	R261目標	R261実績	R262目標	R262実績	R263目標	R263実績	R264目標	R264実績	R265目標	R265実績	R266目標	R266実績	R267目標	R267実績	R268目標	R268実績	R269目標	R269実績	R270目標	R270実績	R271目標	R271実績	R272目標	R272実績	R273目標	R273実績	R274目標	R274実績	R275目標	R275実績	R276目標	R276実績	R277目標	R277実績	R278目標	R278実績	R279目標	R279実績	R280目標	R280実績	R281目標	R281実績	R282目標	R282実績	R283目標	R283実績	R284目標	R284実績	R285目標	R285実績	R286目標	R286実績	R287目標	R287実績	R288目標	R288実績	R289目標	R289実績	R290目標	R290実績	R291目標	R291実績	R292目標	R292実績	R293目標	R293実績	R294目標	R294実績	R295目標	R295実績	R296目標	R296実績	R297目標	R297実績	R298目標	R298実績	R299目標	R299実績	R300目標	R300実績	R301目標	R301実績	R302目標	R302実績	R303目標	R303実績	R304目標	R304実績	R305目標	R305実績	R306目標	R306実績	R307目標	R307実績	R308目標	R308実績	R309目標	R309実績	R310目標	R310実績	R311目標	R311実績	R312目標	R312実績	R313目標	R313実績	R314目標	R314実績	R315目標	R315実績	R316目標	R316実績	R317目標	R317実績	R318目標	R318実績	R319目標	R319実績	R320目標	R320実績	R321目標	R321実績	R322目標	R322実績	R323目標	R323実績	R324目標	R324実績	R325目標	R325実績	R326目標	R326実績	R327目標	R327実績	R328目標	R328実績	R329目標	R329実績	R330目標	R330実績	R331目標	R331実績	R332目標	R332実績	R333目標	R333実績	R334目標	R334実績	R335目標	R335実績	R336目標	R336実績	R337目標	R337実績	R338目標	R338実績	R339目標	R339実績	R340目標	R340実績	R341目標	R341実績	R342目標	R342実績	R343目標	R343実績	R344目標	R344実績	R345目標	R345実績	R346目標	R346実績	R347目標	R347実績	R348目標	R348実績	R349目標	R349実績	R350目標	R350実績	R351目標	R351実績	R352目標	R352実績	R353目標	R353実績	R354目標	R354実績	R355目標	R355実績	R356目標	R356実績	R357目標	R357実績	R358目標	R358実績	R359目標	R359実績	R360目標	R360実績	R361目標	R361実績	R362目標	R362実績	R363目標	R363実績	R364目標	R364実績	R365目標	R365実績	R366目標	R366実績	R367目標	R367実績	R368目標	R368実績	R369目標	R369実績	R370目標	R370実績	R371目標	R371実績	R372目標	R372実績	R373目標	R373実績	R374目標	R374実績	R375目標	R375実績	R376目標	R376実績	R377目標	R377実績	R378目標	R378実績	R379目標	R379実績	R380目標	R380実績	R381目標	R381実績	R382目標	R382実績	R383目標	R383実績	R384目標	R384実績	R385目標	R385実績	R386目標	R386実績	R387目標	R387実績	R388目標	R388実績	R389目標	R389実績	R390目標	R390実績	R391目標	R391実績	R392目標	R392実績	R393目標	R393実績	R394目標	R394実績	R395目標	R395実績	R396目標	R396実績	R397目標	R397実績	R398目標	R398実績	R399目標	R399実績	R400目標	R400実績	R401目標	R401実績	R402目標	R402実績	R403目標	R403実績	R404目標	R404実績	R405目標	R405実績	R406目標	R406実績	R407目標	R407実績	R408目標	R408実績	R409目標	R409実績	R410目標	R410実績	R411目標	R411実績	R412目標	R412実績	R413目標	R413実績	R414目標	R414実績	R415目標	R415実績	R416目標	R416実績	R417目標	R417実績	R418目標	R418実績	R419目標	R419実績	R420目標	R420実績	R421目標	R421実績	R422目標	R422実績	R423目標	R423実績	R424目標	R424実績	R425目標	R425実績	R426目標	R426実績	R427目標	R427実績	R428目標	R428実績	R429目標	R429実績	R430目標	R430実績	R431目標	R431実績	R432目標	R432実績	R433目標	R433実績	R43

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取組みを積極的に行った。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、引き続き多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるように関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力向上に努めていく。	観光案内板の新設や道標の整備を行った。 ・観光案内板 新設:5基 ・道標 新設:6基 撤去:1基	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	7,839千円	6,967千円	①トイレ清掃回数(狭山湖・トロの森観光トイレ)	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。							
		根拠法令	観光立国推進基本法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②桜並木ライトアップ日数									
		特になし	事業の目的及び具体的な内容	8,621千円	8,591千円	③狭山湖利用駐車場利用台数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	H7～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	6,600,000人	2,502,673人	R3目標値が未達成の理由・分析 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出の機会が減少し。観光が難しい状況が続いたため。						
		0.44人	0.1人	①434回	R3目標	R3実績									
3,594千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②14日	6,900,000人	集計中										
0.36人	0人	③83,746台	R4目標	R4実績	7,200,000人										
2,873千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													
531	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止もあったが、狭山丘陵の魅力発信に引き続き努めていく。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任 つかう責任	15. 陸の豊かさも守ろう
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	90千円	0千円	①共同事業への参加回数	狭山丘陵関連プロモーション件数	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加や情報発信等の件数とした。							
		根拠法令	観光立国推進基本法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②									
		特になし	事業の目的及び具体的な内容	90千円	0千円	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	H30～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	-	-	R3目標値が未達成の理由・分析 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった事業があったため。						
		0.43人	0人	①1回	R3目標	R3実績									
3,512千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②	5件	3件										
0.17人	0.05人	③	R4目標	R4実績	6件										
1,357千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													
532	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う各国の出入国規制により訪日外国人観光客の誘致は困難となったが、台北国際旅行博への出展をし、WEB配信によってPRを行った。所沢駅西口の観光案内板を多言語化するなど、市内の外国人観光客受入体制を整備した。	R3年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	16,226千円	14,822千円	①WEB記事のPV数(台湾・香港向け)	Facebook "いいね"とTwitterフォロワー数の合計	SNSが外国人旅行者の情報源の主流となっていることから、外国人旅行者における本市の関心度や情報発信の効果を図るFacebook"いいね"とTwitterのフォロワー数を指標とする。							
		根拠法令	特になし	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②WEB記事連動Facebookリーチ数									
		特になし	事業の目的及び具体的な内容	6,250千円	4,985千円	③アンケート回収数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	H30～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	5,300人	10,277人	R3目標値が未達成の理由・分析 目標達成済						
		0.61人	0人	①4,108	R3目標	R3実績									
4,982千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②274,706	5,400人	12,838人										
0.57人	0人	③345名	R4目標	R4実績	5,500人										
4,549千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													
532	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となったが、所沢市観光情報・物産館のオープンにあわせて、ダイアプラン観光PRイベントを効果的に実施することができた。シェアサイクルステーションを公共施設に積極的に設置した。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	11. 住み続けられるまちづくりを	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①シェアサイクル利用者数	他自治体と連携したイベント等へ参加した回数	観光客の回遊性を高めるためには、広域的な連携による取り組みが効果的なため。							
		根拠法令	特になし	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②シェアサイクルステーション数									
		特になし	事業の目的及び具体的な内容	0千円	0千円	③広域連携による観光プロモーション数(協議会分)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						
		期間	R2～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	22回	6回	R3目標値が未達成の理由・分析 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの事業が中止となったため。						
		0.41人	0.2人	①11,884	R3目標	R3実績									
3,349千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②66か所	23回	10回										
0.35人	0.03人	③6回	R4目標	R4実績	24回										
2,793千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R3)	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
533	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			B	認定商品選定件数は少なかったものの、販売協力店舗は目標値を達成しており、今後の課題となる販路支援、認知度向上の面においては、一定の成果が得られたため。	R3年度に改善した点	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう		
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,927千円	2,131千円			魅力的な特産品の創出が事業目的となっていることから、創出促進のための各支援(補助支援・認定支援・販路支援)の実績値を目標値に設定した。					農商工連携推進事業勉強会参加者へ案内を送るなど申請件数の増加に努めた。	11. 住み続けられるまちづくりを		
		所沢ブランド特産品創出支援事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	①認定商品申請件数 ②認定商品選定件数 ③販売協力店舗数(認定者自店舗含む)	①認定商品の選定件数(H30～R3年) ②販売協力店舗数(H30～R3年)						認定商品選定件数は少なかったもの、販売協力店舗は目標値を達成しており、今後の課題となる販路支援、認知度向上の面においては、一定の成果が得られたため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			所沢ブランド特産品創出支援事業	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					農商工連携推進事業と有機的に連動することはもちろん、地域経済の循環、雇用増加など、当事業の持つ効果を念頭に置いて進めていくことが重要。また、認定品数が充実してきた段階に入ったため、周知、宣伝、販促をより重視していくことが重要。	どのように貢献したか		
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	①審査基準に達する商品が少なかったため。 ②目標達成済					地域の魅力をもった商品の高付加価値化が実現できるとともに、シビックプライドの醸成につながる。	どのように貢献したか		
			期間	H29～H32	0.57人 4,656千円	0人	①15件 ②4件 ③7店舗	①5件 ②10件 ①6件 ②12件					評価者	産業振興課長 森田 茂明		
533	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			C	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数が少なくなりました。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	500千円	415千円	①クアオルト健康ウォーキングの実施回数 ②参加人数	「クアオルト健康ウォーキング」実施回数	本事業は「クアオルト健康ウォーキング」を多くの人に利用してもらい、健康づくりや産業・観光振興、環境保全等の事業を推進することを目的とする。					長期間にわたり実施を取りやめていたため、1月の再開前に実践指導者の方たちを集め、勤を取り戻すための研修会を実施した。	15. 陸の豊かさも守ろう		
		ヘルスツーリズム産業創出支援事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	③実践指導者の養成							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会補助金交付要綱	500千円	153千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析			1回あたりの参加者が少ない。また、実践指導者の人数が少ないため、実施回数を増やすことが難しい。そのため、今後の取組みとしては、市内外に向けた広報活動の強化と実践指導者の養成を行っていく。	保健サービスの充実と森林保全活動の支援を行った。		
			事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、4月から12月の間、開催を取りやめていたため。					評価者	商業観光課長 築地 将司		
			期間	R1～	0.36人 2,940千円	0.15人	①5回 ②10人 ③0人	15回 7回								
533	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	当初19回を予定していた令和3年度の協働事業について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの実績が13回と今年度目標を上回ったため。また、フレンドリーシティ感謝デー等のイベントにて当市のPRを図ることができたことによるもの。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	地域社会の発展や地域福祉の向上などに寄与することを目的として、平成27年3月に「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定に関する基本協定(フレンドリーシティ)」を締結している。					コロナ禍においても、栗山巧選手の通算2,000本安打を記念したパネルの設置や、松坂投手引退企画等の実施により、西武ライオンズと所沢市の連携を市民にPRすることができた。	協働事業の一環として、試合への無料招待などのほか、「あたま・こころ・からだの健康」等「健康長寿のまち」の実現に寄与する街歩き型謎解きイベントを実施した。		
		ブランド価値の向上事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			特になし	0千円	0千円	③		R3目標値が未達成の理由・分析					本市の貴重な観光資源として、西武ライオンズとフレンドリーシティの枠組みを超えた本拠地ならではの協働事業等を実施していく必要がある。	どのように貢献したか		
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績	目標達成済					評価者	商業観光課長 築地 将司		
			期間	H17～	0.28人 2,287千円	0.15人	①13回 ② ③	10回 2回								
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	令和2年度に世界農業遺産への認定申請に係る承認を得たことから、令和3年度において世界農業遺産認定申請書をFAO(国連食糧農業機関)に提出した。	R3年度に改善した点	1. 貧困をなくそう		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	100千円	100千円	①世界農業遺産認定申請書を提出	武蔵野の落ち葉堆肥農法のPR	武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会は、伝統的農法を次世代へ継承していくとともに広くPRに向けた取組みを進めて行くものであるため、この事務事業評価においても、協議会としての目標を設定する。(なお、目標は数値化できないため、取組みを目標とする。)					世界農業遺産認定申請書の提出に向けて準備を進めるにあたり、武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会会員の中で、農法の保全等の意義の再認識を図った。	2. 飢餓をゼロに		
		武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進事業	根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②事務担当者会議開催回数							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
			武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会規約	100千円	100千円	③		R3目標値が未達成の理由・分析					農林水産省を経由し、FAO(国連食糧農業機関)に対し世界農業遺産認定申請書を提出したところであるが、新型コロナウイルスの影響もあり、その後の予定は未定となっている。	環境にやさしい農法により、周辺環境への負荷を低減。		
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					評価者	農業振興課長 大館 寿貴		
			期間	H29～	0.08人 653千円	0人	①10/7提出 ②11回 ③	認定申請に係る承認についてメディアで周知 世界農業遺産の認定 世界農業遺産認定申請書の提出								

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	コロナ禍により、所沢農産物についてPRの場が減少したが、直売所ガイドマップの改定や、直売所のぼり旗をリニューアルするなど所沢農産物のPRを図った。	R3年度に改善した点	1. 貧困をなくそう	13. 気候変動に具体的な対策を	
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,334千円	2,003千円	①とことこ市開催回数	所沢産農産物の直売所への出荷割合	地元の農産物がどれだけ所沢で消費されているかを測るため、市場に流通する農産物ではなく、地元の直売所または、スーパーなどへの出荷率を指標とした。	R3目標			R3実績	直売所ガイドマップについて、市内を4つの地域に分け、携帯しやすいサイズとし、また、生産者の顔写真を掲載する改定を行うことで、顔が見える安全・安心な農産物と直売所のPRを図った。また、直売所のぼり旗について、人の目に留まりやすい目印となるようなデザインとし、更なるPRに努めた。	2. 飢餓をゼロに	
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②とことこ市売上実績	60.0%							60.0%	8. 働きがいも経済成長も	
		地産地消推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
		期間	H15~	0.64人	0人	実績	60.0%	60.0%	目標達成済			直売所ガイドマップ、直売所のぼり旗の効果を検証するとともに、生産者の意見を参考にしながら、地産地消のPR方法を検討していく。	地産地消の推進により、生産者の生産意欲を拡大。		
				5,228千円		①14回	60.0%	62.0%							
		0.71人	0人	②1,337,289円	60.0%										
		5,666千円		③	60.0%										
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	昨年度は新型コロナウイルスの影響で中止とした体験農場講習会を、募集方法や会場を変更することにより開催することができた。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,752千円	2,148千円	①貸出区画数	講習会の参加人数	体験農場の利用者を対象に、作物の作付や防虫など技術的な知識を習得するため、年度内に2回(春・夏)研修会を実施している。利用者の技術と意欲の向上及び農業への関心に最も寄与していると思われる「体験農場講習会」の参加人数を指標とした。	R2目標			R2実績	体験農場講習会を自由参加制から定員を設けた申込制に変更し、感染拡大防止に配慮して開催した。	3. すべての人に健康と福祉を	
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②体験農場利用料	50名							0名	11. 住み続けられるまちづくりを	
		特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律、所沢市特定農地貸付規程	3,850千円	2,747千円	③	R3目標	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか						
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	30名	23名	年2回開催する予定であったところ、新型コロナウイルスの影響により、1回分中止となってしまったため。	「農のあるまちづくり」を推進するとともに、感染防止対策を取りつつ広く利用者が参加できるような方法を検討していく。			「農のあるまちづくり」を推進するとともに、感染防止対策を取りつつ広く利用者が参加できるような方法を検討していく。			
		期間	S59~	0.63人	0人	①503区画	30名								
		5,146千円		②1,741,950円	30名										
		6,145千円		③	30名										
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、農業祭を開催することができなかったが、農業団体に協力をを行い、農業祭の目的に沿った活動を行うことができた。	R3年度に改善した点	2. 飢餓をゼロに		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①農業祭実施	売上実績	所沢農産物の認知度や需要を計るため、生産者がイベント時に直接販売する売上実績を指標とする。	R2目標			R2実績	昨年度に引き続き、農業祭を開催することができなかったが、農業団体に協力をを行い、農業祭の目的に沿った活動を行うことができた。	9. 産業と技術革新の基盤を作ろう	
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②農業祭実行委員会	4,500千円							0千円	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
		農業祭開催費補助金交付要綱	500千円	0千円	③共進会、品評会	R3目標	R3実績	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の開催を中止したため。	新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、各農業団体等の代表者等で構成される所沢市農業祭実行委員会において開催可否を判断していく。			品評会等の開催による生産技術の向上。			
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	1,000千円	0千円								
		期間	S53~	0.40人	0人	①中止	4,500千円								
		3,267千円		②中止											
		2,314千円		③中止											
533	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	体験学習型所沢農産物PR事業の親子収穫体験について規模を縮小して開催した。また、豊島区「ファーマーズマーケット」において、農業者団体の出店調整を行うなど、年度の後半においてイベントを活用した所沢農産物のPRを図れるように努めた。	R3年度に改善した点	1. 貧困をなくそう		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	971千円	347千円	①体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫参加者	市内外の親子が所沢農産物に直接触れ、理解を深めるイベントである体験学習型所沢農産物PR事業への参加人数を指標とした。	R2目標			R2実績	販売の際に農産物に貼る「所沢農産物デザインシール」について、所沢産であることが一目で分かるように、複数あったデザインを1種類とするとともに、直売所店舗以外で所沢農産物を販売、出荷する者も広く利用対象者に含めることとした。	2. 飢餓をゼロに	
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②	20組(40名)							0組	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③	R3目標	R3実績	目標達成済	新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、イベントの開催や参加を進める一方、イベント開催だけに終わられない推進事業についても検討していく。			所沢産農物のブランド化を推進することによる市場価値の向上。			
		期間	R1~	0.36人	0人	①10組(20名)全2回のうち1回開催	10組(20名)						10組(20名)		
				2,940千円		②	20組(40名)								
		5,347千円		③											

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト		活動実績(R3)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)					
534	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止や規模を縮小することにより実施した。既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取り組みを積極的に行った。引き続き、多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるよう、関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力の向上に努めていく。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を					
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	10,000千円	6,648千円		①無料バス乗客数	観光入込客数	令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人の増加を目指す。										
		根拠法令		R3予算現額	R3決算額(見込み)		②所沢民踊まつり参加人数												
		観光振興対策事業	所沢市観光団体補助金交付要綱	10,000千円	8,670千円		③観光パンフレット発行部数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	8. 働きがいも経済成長も	11. 住み続けられるまちづくりを	
		事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		実績	6,600,000人	2,502,673人	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光できない状況が続いたため。									
		期間	所沢の魅力を市内外に広くPRし、観光客の誘致を図る活動をしている一般社団法人所沢市まちづくり観光協会に補助をすることにより、市のイメージアップや観光客増加、賑わいの創出、地域の活性化を図っている。	0.84人	会年職員等	0.15人		①中止	R3目標							R3実績	R4目標	R4実績	どのように貢献したか
S28~		6,861千円			②中止	6,900,000人	集計中	R4実績		新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が激減した飲食店のテイクアウトによる取り組みに寄与した。									
				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合		③74,000部	7,200,000人			評価者	商業観光課長 築地 将司							
				0.40人	会年職員等	0.40人													
				3,192千円															
534	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じ、所沢市観光大使さいたまプロコンによる「ふれあいキャラバン隊」を小学校3校、市民体育館6回、クラブ1回の計10回実施した。また、テレ玉「ご当地中継63」、「東京2020オリンピック聖火リレーセレブレーション」、「さいたまプロコンスホームゲーム」に所沢市観光大使JAY'S GARDENとところんのコラボ出演により、本市の魅力をPRすることができた。所沢市観光大使による栗山選手2000安打達成動画メッセージを作成した。	R3年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も					
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	9,802千円	8,465千円		①ロケ実績	Facebook"いいね"とTwitterフォロワー数の合計	SNSを活用した情報発信の効果と、所沢への関心度を図るために採用した。										
		根拠法令		R3予算現額	R3決算額(見込み)		②ところん貸出件数												
		効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	観光立国推進基本法	6,841千円	5,402千円		③市主催観光大使出演回数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
		事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		実績	5,300人	10,277人	目標達成済									
		期間	「所沢市観光大使」、イメージマスコット「ところん」、観光ガイドブック、ロケーションサービス等を通じ、観光客誘致のためのプロモーションを行うもの。	0.94人	会年職員等	0.9人		①44件	R3目標							R3実績	R4目標	R4実績	積極的にPRにより、所沢市の魅力へのアクセスを確保した。
H3~		7,678千円			②82件	5,400人	12,838人			評価者	商業観光課長 築地 将司								
				0.44人	会年職員等	0.73人													
				3,511千円			③17回	5,500人											

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
551	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、予定していた事業が実施できなかったため。	R3年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,400千円	0千円	①姉妹都市との交流	友好委員会事業に参加した市民の数	外国の文化や姉妹都市交流に対する市民の興味・理解を促進する必要があるため。	R3目標値が未達成の理由・分析						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	1,400千円										49千円
		国際友好委員会交付金	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	韓国・安養市もしくは中国・常州市への市民訪問団の派遣及び同市からの友好訪問団受入を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、中止となったため。						
			外国の姉妹都市との交流は、行政主導の交流から民間が主体となった交流へと移っており、この流れを促進していくため、海外姉妹都市との交流を主体的に進める民間団体に対して助成をし、その活動を支援する。 ①姉妹都市(米国・ディケイター市、中国・常州市、韓国・安養市)への一般市民訪問団の派遣②姉妹都市から来訪する訪問団との交流③姉妹都市への文化・スポーツ団体等の訪問団に対する支援④外国人市民との交流	0.28人	0人	50人	-								
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①0回	R3目標	R3実績							50人
		S55~	2,287千円	0人	②1つ	R4目標	R4実績	50人							
	0.33人	0人													
	2,633千円	0人													
551	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、姉妹都市からの行政視察団の来訪がなかったため。	R3年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	189千円	12千円	①姉妹都市から行政視察団を受け入れた数	姉妹都市交流事業を通して視察目的や相互理解を達成することができた参加者の割合	相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。	R3目標値が未達成の理由・分析						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	989千円										31千円
		国際交流推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、姉妹都市からの行政視察団の来訪がなかったため。						
			様々な事業を通して姉妹都市を中心とした海外都市との関係を構築する。 ①姉妹都市との間で行政視察団の派遣・受入れを相互に行い、先進的な取組等について行政情報の交換を行う。 ②姉妹都市との間で周年に合わせて代表訪問団の派遣・受入れを相互に行うなど、信頼関係の促進に努める。	0.55人	0人	-	-								
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①0回	R3目標	R3実績							75.0%
		~	4,492千円	0人	②0人	R4目標	R4実績	75.0%							
	0.28人	0人													
	2,234千円	0人													
551	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、派遣員の派遣が中止となったため。	R3年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①所沢市からの派遣員の人数(奇数年)	事業に参加したことにより国際社会についての理解度が深まった派遣員の割合	相手国との理解を深め、安定的な関係を築くために、視察等の交流を通して相互の交流目的を果たすことができているか確認する必要があるため。	R3目標値が未達成の理由・分析						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	0千円										0千円
		海外都市学生交流事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、姉妹都市からの行政視察団の来訪がなかったため。						
			姉妹都市に派遣員(高校生等)を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していくことを目的としている。 米国ディケイター市との間で、派遣と受入れを毎年交互に行い、派遣員は一般家庭で2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。	0.24人	0人	-	-								
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①0人(令和3年度事業中止のため)	R3目標	R3実績							80.0%
		H3~	1,960千円	0人	②0世帯(令和2年度事業中止のため)	R4目標	R4実績	80.0%							
	0.18人	0人													
	1,436千円	0人													
552	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	多言語化を進めたい所属に対し、やさしい日本語や翻訳に関する情報を積極的に提供することで、「新しく対応言語が増えた行政資料の数」を増やすことはできている。引き続き、効果的な周知や積極的な協力を行うことで、外国人市民にとって必要と思われる情報の多言語化を推進していく。	R3年度に改善した点	10. 人や国の不平等をなくそう		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	45千円	4千円	①多言語化されている行政資料の数 ②他機関が作成した多言語資料の活用数	新しく対応言語が増えた行政資料の数(「やさしい日本語」への対応も含む)	外国人市民に母国語又はやさしい日本語で、分かりやすく情報発信をしていく必要があるため。	R3目標値が未達成の理由・分析						
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	15千円										4千円
		行政資料の多言語化推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成済						
			外国人市民に対し、市政情報を多言語(「やさしい日本語」を含む)で提供し、言葉や生活習慣などの違いから日常生活や災害時に感じる不便をなくすことを目的としている。 ①年1回程度、庁内で多言語化に関する調査を行い、実態に合った効果的な支援策を講じる。 ②外国人市民のニーズが高い情報を多言語化するため、関係課と連携し、多言語化の支援などを行う。 ③やさしい日本語の普及を行う。	0.30人	0人	10	20								
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①65	R3目標	R3実績							10
		R1~	2,450千円	0人	②38	R4目標	R4実績	10							
	0.26人	0人													
	2,075千円	0人													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
561	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	コロナ禍で人々に閉塞感が漂っている中で、音楽の力により人々の生活にうるおいをもたらしていくため、コンサートを計4回開催し、「音楽のあるまちづくり」を推進した。一方で、コロナの影響により、市でのイベント開催が少なく、音まち推奨制度の推奨件数が目標に届かなかった。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	453千円	176千円	①「音まちコンサート」の実施	「音まち」推奨制度推奨数	目標設定の考え方・根拠 市内で定期的、継続的に開催して、営利を主目的とせず、広く市民を対象としている音楽行事を推奨することで、本市を市内外にアピールしてイメージアップを図るため。なお、R4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、前年目標と同一とした。											
		根拠法令	文化芸術基本法、所沢市音楽のあるまちづくり検討会議設置要綱	R3予算現額	R3決算額(見込み)	298千円			278千円							②「まちなかコンサート」の実施			
		事業の目的及び具体的な内容	あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。 ①「音まち」推奨制度…音楽情報サイトが独自に入手した情報等の中から、市が認定する制度。 ②「音まちコンサート」…「音まち」事業のPR、市民の気兼ねな鑑賞の場として実施する庁内コンサート。 ③「まちなかコンサート」…若手ミュージシャンの発表の場、まちなかでの音楽鑑賞の場。 ④「音まちMAP」発行等、各種PR事業。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.66人	0.05人	実績	R2目標							R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析		
		期間	H25～	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	5,391千円	0.01人	①2回(いずれも特別公演)	R3目標							R3実績	30件	16件	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催が困難であったと考えられ、目標の未達成となった。
				R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.82人		②2回	R4目標							R4実績	30件	19件	
				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	6,544千円											30件		
561	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	施設稼働率は目標値をわずかに下回ったが、ガイドラインの遵守や感染症対策を徹底したことで、自主事業を予定通り行えた。また、管理棟のカフェが9月からリニューアルオープンしたことにより、来館者へのサービスが拡充された。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	542,166千円	542,120千円	①年間施設利用日数(日)	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く)	所沢市民文化センターは、本市における文化芸術活動の拠点であり、市民が芸術に触れる機会の増進を図り、施設利用者の増加を促進するために施設稼働率を指標とする。なお、R4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響がR3年度よりもさらに改善していることを鑑み、R3年度実績比10%増とした。											
		根拠法令	所沢市民文化センター条例、所沢市民文化センター条例施行規則	R3予算現額	R3決算額(見込み)	551,864千円			551,765千円							③自主事業イベント観客入場率(%)			
		事業の目的及び具体的な内容	本市の文化芸術振興のため、所沢市民文化センターにおける事業運営と施設管理を行い、市民の芸術に触れ合う機会の増進と施設利用者の増加を促進する。また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市文化振興事業団が実施している。 なお、平成30年12月から令和2年3月までは大規模改修を、令和2年4月から令和12年3月までは維持管理を、共にPFI事業者が実施している。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	1.27人	0人	実績	R2目標							R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析		
		期間	H5～	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	10,373千円	0.05人	①3,066(全14施設)	R3目標							R3実績	65.0%	32.2%	R2年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に改善傾向にあるが、R3年度でもデルタ株やオミクロン株が流行するなど、コロナの完全な収束とはなっていないことが目標値未達成の一因と考えられる。
				R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	1.40人		②6,476(全14施設)	R4目標							R4実績	48.2%	46.8%	
				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	11,172千円		③64.9%(チケット販売上限枚数を100%として算出)									51.5%		
561	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症対応で所沢中央病院に施設を貸し出すなど、変則的な対応を迫られたが、指定管理者及び利用団体と密に調整を図ることにより、大きなトラブルも無く運営を行えた。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を					
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	14,225千円	13,725千円	①年間施設利用日数(日)	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く)	市民の文化芸術活動の発表の場「ギャラリー」として、市民へ利用に供し文化芸術活動等の促進を図るため、施設稼働率を指標とする。											
		根拠法令	所沢駅東口市民ギャラリー条例、所沢駅東口市民ギャラリー条例施行規則	R3予算現額	R3決算額(見込み)	12,986千円			12,192千円							②利用件数(団体・個人)			
		事業の目的及び具体的な内容	所沢駅東口市民ギャラリーは、市民の文化芸術活動等の促進を図ることを目的とした施設であり、ギャラリーとして一般利用に供することを目的としている。また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市公共施設管理公社が実施している。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.32人	0人	実績	R2目標							R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析		
		期間	H29～	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	2,614千円	0人	①255	R3目標							R3実績	50.0%	19.7%	目標達成済
				R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.33人	0人	②15	R4目標							R4実績	50.0%	69.9%	
				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	2,633千円	0人										50.0%		
561	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	新型コロナウイルス感染症の影響により、同イベントが開催中止となった。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを						
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①イベントの合計数	延べ入場者数	「音楽のあるまちづくり」の核となる事業として市民へ一層アピールしていくため、入場者数を指標とした。なお、R4年度は開催がないため、0人としている。											
		根拠法令	文化芸術基本法、空飛ぶ音楽祭実行委員会補助金交付要綱	R3予算現額	R3決算額(見込み)	650千円			207千円							②有料ステージの来場者数			
		事業の目的及び具体的な内容	本市が推進している「音楽のあるまちづくり」を一層アピールし、今後の活動の核となる事業として、「空飛ぶ音楽祭」を開催し、「所沢＝音楽のまち」というブランドの醸成を目指す。「航空記念公園」と所沢市民文化センター「ミュージアム」が隣接して存在するという恵まれた環境を最大限に活かし、クラシックからポピュラーといった幅広い音楽をレパートリーとして、市内外から集まる観客に所沢の魅力を実感してもらう。また、市内外から集まる観客に所沢の魅力を実感してもらう。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	1.59人	0人	実績	R2目標							R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析		
		期間	R3～	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	12,987千円	0.01人	①0	R3目標							R3実績	100,000人	0人	イベントが開催中止となったため。
				R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	1.32人	0.01人	②0	R4目標							R4実績	100,000人	0人	
				R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	10,534千円											0人		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初の予定通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかしながら、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるよう、その下地となる遺物の整理保存に取り組んでいく。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		12,243千円	10,754千円	①整理作業遺跡件数	発掘調査報告書刊行調査回数	発掘調査の成果を報告書として刊行するために遺物の整理を行うことが当事業の目的であるため、報告書を刊行した発掘調査回数を指標とし、報告書刊行済の調査報告回数に、現年度刊行予定の報告書掲載発掘調査回数を加えたものを目標値とした。						
		根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例		R3予算現額	R3決算額(見込み)	②整理作業遺構件数								
		埋蔵文化財遺物整理保存事業	事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③出土遺物の保存処理・化学分析	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくため、次のような作業を行う。 ①遺物の水洗 ②注記 ③接合 ④復元 ⑤着色 ⑥報告書掲載遺物の選出 ⑦実測 ⑧拓本 ⑨保存処理 ⑩科学分析 等	0.18人		8.00人	実績	368件	359件	目標達成済						
		期間	S50～		1,470千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①13件		R3目標					
0.21人	6.00人	1,676千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②168件	R4目標	R4実績								
1,676千円	6.00人		③9点	371件	372件										
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、前年度刊行した調査報告書の内容を市民に分かりやすく伝えるため「調査報告会」や「現地説明会」、地元中学生の団体見学などを開催したことで目標値を達成している。次年度も発掘調査を実施し、整備に向けて着実な準備を進めていく。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		2,876千円	2,414千円	①史跡整備に伴う発掘調査延べ面積	保存会会員数+現地見学者数(団体見学のみ)+現地説明会参加者数	「滝の城跡」を後世に護り伝えていくために、保存活動をしている団体の会員数、及び見学者(団体)の人数、また、史跡整備の発掘調査の現地説明会参加者を指標とした。						
		根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例		R3予算現額	R3決算額(見込み)	②現地説明会参加者数								
		滝の城跡整備事業	事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③発掘調査報告会参加者数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ護り伝えていくための事業。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所の応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	0.52人		2.00人	実績	50人	79人	目標達成済						
		期間	H19～		4,247千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①4,182㎡		R3目標					
0.50人	3人	3,990千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②53名	R4目標	R4実績								
3,990千円	3人		③68名	100人	375人										
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染対策を行いながら公開活用事業に取り組んできたが、事業規模を縮小して開催しているため、目標値は達成できていない。多くの市民の皆さんに文化財への興味関心を抱いていただけよう、事業規模や事業手法を検討して取り組んでいく。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		2,313千円	1,696千円	①所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数	文化財に関する市民理解度(文化財保護課所管の施設の見学及び主催事業への参加者数)	文化財を身近に感じ、後世へ護り伝えていく意識を持つ市民を増やすことを目的にしているため、市民理解度を指標とする。						
		根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例		R3予算現額	R3決算額(見込み)	②所沢市web文化財保護課所管コンテンツ月別最多掲載数								
		文化財公開活用事業	事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③公開活用事業数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		文化財の公開や文化財を活用した事業を実施することで、市民等に「ふるさと所沢」への愛着や、文化財を後世に残す意義を伝えるために実施する。主な内容は、①指定文化財等の情報公開 ②指定文化財等の管理 ③展示や講座などの指定文化財等の公開活用事業の開催	0.72人		0.05	実績	8700人	3367人	新型コロナウイルス感染対策として、事業全般で規模を縮小した開催としているため。						
		期間	H18～		5,881千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①553,968件		R3目標					
0.69人	0人	5,506千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②288件	R4目標	R4実績								
5,506千円	0人		③17件	8700人	8700人										
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	過密飼育になることを避けるため、目標値より少ない個体数に抑えたため、わずかながら目標達成には至っていない。今後は幼魚の数を減らすことなく成魚になるよう飼育し、引き続き個体数の維持に努める。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加		3,239千円	3,007千円	①年度未個体数	埋蔵文化財調査センターにおいて人工増殖により増加した個体数	ミヤコタナゴの種の保存のため、飼育総数個体3,000～3,500を目標としていることから、当該年度の人工増殖数を指標とした。						
		根拠法令	文化財保護法、所沢市文化財保護条例、絶滅のおそれのある希少野生動物種の保存に関する法律		R3予算現額	R3決算額(見込み)	②死亡数								
		ミヤコタナゴ保護対策事業	事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③体験学習受入れ件数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		絶滅危惧種で国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」の種の保存と、環境学習等としての活用を図るために実施する。主な内容は、①人工増殖による必要な個体数の維持 ②市内小学校等での展示飼育(保護啓発と環境学習) ③中学校での飼育体験	0.83人		1.03人	実績	1,500尾	1,729尾	過密飼育になることを避けるため、目標値より少ない個体数に抑えたため。今後は幼魚の数を減らすことなく成魚になるよう飼育していく。						
		期間	H8～		6,779千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	①4,441尾		R3目標					
1.00人	1人	7,980千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②914尾	R4目標	R4実績								
7,980千円	1人		③0件	1,500尾	1,459尾										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度開催を中止した第14回「所沢市伝統芸能発表会」について、開催目的を例年の「市民に対して伝統芸能への理解を深めること」から「新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛が続いている民俗芸能継承団体の活動再開への機運を高めるきっかけづくり」に変更し企画・開催した。出演をきっかけに活動を再開した継承団体もあり、「重松流祭囃子保存会」主体の披露日数も増え、目標値を達成できた。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	496千円	0千円	①伝統芸能発表会の鑑賞者数(出演者+来場者数)	郷土の民俗芸能の披露日数	市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と継承、その保存団体の存続と発展を目的としているため、披露される日数を指標にしている。	R2目標						R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②重松流祭囃子保存会の活動参加者数(重松流祭囃子各活動の出演者)	10日										
		事業の目的及び具体的な内容	2,709千円	2,371千円	③岩崎獅子舞保存会の活動参加者数(奉納岩崎彫獅子舞の出演者+来場者数)	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析								
		市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ護り伝え、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目指す。主な内容は、①伝統芸能発表会の開催(隔年)②郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援	2,706千円	2,031千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績		R2実績							
		期間	H5～	0.62人	0.02	①172人	10日	0日	R3目標値が未達成の理由・分析							
		5,064千円	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②368人	R3目標	R3実績									
0.55人	0人	③0人	R4目標	R4実績	10日											
4,389千円	4,389千円															
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成しているが、指定文化財の種類により所有者(管理者)が負担する経費が増大している。所有者(管理者)とは平時から連絡を密にし、補助金の適正な執行とともに、財政的な援助以外にも職員ができる支援はないか、指定文化財の維持管理に努める必要がある。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,706千円	2,031千円	①管理費補助件数	所有者(管理者)の申請件数と交付件数の率	指定文化財の管理に必要な経費を少しでも市で支援(補助金交付)することは、貴重な指定文化財をより良好な状態で保存・管理することにつながるため指標とした。	R2目標						R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②修理等補助件数	100.0%										
		事業の目的及び具体的な内容	2,706千円	2,031千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2実績								
		市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、①市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付③実績報告により管理状況等を確認する	1,797千円	1,357千円	0.22人	0.05人	①66件	100.0%	100.0%						R3目標値が未達成の理由・分析	
		期間	S56～	0.17人	0人	②0件	100.0%	100.0%								
		1,357千円	1,357千円													
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	埋蔵文化財調査センター開設から28年が経過し、施設の老朽化による不具合が年々増加している。突発的な不具合などにより、計画的に修繕を行うことが難しくなっているが、必要箇所を見極めて修繕に努めており、目標値を達成している。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	9,333千円	8,409千円	①来館者数	年間の施設修繕件数	来館者等の安全管理及び収蔵資料を後世に伝えていくために適正な施設管理を行うことが目的であるため、修繕実施数を指標とし、過去3年間の年間修繕件数の平均値を必要数と考え目標値とした。	R2目標						R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②年間開館日数	5件										
		事業の目的及び具体的な内容	9,179千円	8,092千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2実績								
		来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	4,901千円	5,905千円	0.60人	0.05人	①3578人	4件	5件						R3目標値が未達成の理由・分析	
		期間	H6～	0.74人	0人	②243日	4件	5件								
		5,905千円	5,905千円													
562	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、個人や小学校団体見学も昨年度より増え、目標値は達成している。各地域に伝わる民俗資料を保存・管理し、後世へ護り伝えるための施設として、今後も引き続きPRしていくとともに、小中学校の郷土学習等の活用の充実に努める。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	4,603千円	3,794千円	①開館日数	来館者数	市内各地域に伝わる貴重な民俗資料を多くの人にみってもらうことにより、郷土への理解を深める機会をより多く提供することになると考え、来館者数の増加を目標とする。	R2目標						R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②来館小中学校数	1900人										
		事業の目的及び具体的な内容	3,591千円	2,910千円	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2実績								
		地域ごとの民俗資料の保存と市民への公開を目的とする。①中富・柳瀬・山口民俗資料館の開館業務 開館日:各館月4回 開館時間:午前9時～午後4時30分 入館料:無料	4,492千円	3,910千円	0.55人	1.05人	①144日	1200人	1521人						R3目標値が未達成の理由・分析	
		期間	S56～	0.49人	1人	②6枝	1600人									
		3,910千円	3,910千円													

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
				会計	投入コスト	活動実績(R3)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)				
563	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額 11,189千円 R3予算現額 10,050千円 R2正規職員人件費 1.95人 R3正規職員人件費 1.15人 R2決算額 10,558千円 R3決算額(見込み) 9,526千円 R2その他職員従事割合 1.90人 R3その他職員従事割合 1.90人	項目名 ①参加・利用者数 ②企画事業開催数 ③事業に協力した市民学芸員の延べ人数 実績 ①2,919人 ②5件 ③410人	指標名 展示見学者・講座参加者・閲覧学習室利用者の延べ人数 R2目標 6,000人 R3目標 6,000人 R4目標 6,000人	目標設定の考え方・根拠 ふるさと研究活動の周知と市民参加が目的のひとつであるため、参加者・利用者数を指標とした。 R3目標値が未達成の理由・分析 新型コロナウイルス感染症の影響により、ふるさと研究講座入門編などの講座事業が開催できなかったほか、開催した事業についても、密を防ぐため参加人数を絞って実施しなければならなかったため。	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成率が前年度よりもさらに落ち込み50%を割ってしまったが、事業規模は縮小しながらも展示・講座などの開催は積極的に行っている。遠出できない今こそ、より多くの市民に「ふるさと所沢」に興味関心を抱いていただけるよう、事業手法をさらに検討していく。	R3年度に改善した点 子ども向け事業として体験学習会「狭山丘陵探検隊」を新たに開催した。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み より多くの市民にふるさと研究活動への興味をもっていただくため、従来とは違う事業の実施方法がないか検討していく。	4. 質の高い教育をみんなに	展示・講座の開催によって、市民に「ふるさと所沢」についての学習機会を提供している。				
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加									R2決算額		R3決算額(見込み)	R2実績	R3実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		ふるさと研究活動事業	根拠法令									R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			社会教育法、博物館法、文化財保護法									1.95人		1.90人	6,000人	3,587人	
		事業の目的及び具体的な内容	所沢市の歴史や自然などの本市に関する様々な分野の資料の収集・保存・調査・研究を進め、常設展示や企画展示・講座・体験学習会などを通じて研究成果を紹介し、郷土への愛着を深めるための事業を展開する。									15,928千円		1.90人	6,000人	2,919人	どのよう貢献したか
		期間	H7～									1.15人		1.90人	6,000人		
												9,177千円					